

**授業概要**

博物館において、情報技術、メディアは資料収集、研究、展示、教育などあらゆる場面において活用されている。本授業では、博物館における情報・メディアの意義と歴史、活用方法とその実際について講義する。博物館での活動をいかに情報化し、情報発信をおこなうべきか、さまざまな取り組みの実例を挙げながら講義する。

**授業計画**

第1回	オリエンテーション
第2回	博物館における情報・メディアの展開と意義
第3回	ICT 社会のなかの博物館
第4回	博物館教育と情報・メディア
第5回	デジタル化の技術（1）博物館資料とデータベースの構築・運用
第6回	デジタル化の技術（2）資料の形状、色などのデジタル化
第7回	デジタルアーカイブ
第8回	データベース、デジタルアーカイブの体験
第9回	博物館と知的財産
第10回	展示における情報・メディア活用の実例（1）情報通信技術の活用
第11回	展示における情報・メディア活用の実例（2）VR 映像
第12回	博物館における情報・メディア活用の実例（1）情報公開とインターネット
第13回	博物館における情報・メディア活用の実例（2）高精細画像の活用
第14回	博物館における情報・メディア活用の実例（3）復元CGの制作
第15回	まとめ
第16回	

**到達目標**

博物館における情報・メディアの意義、技術、方法、課題について理解し、博物館での情報提供や情報・メディア活用に関する基礎知識を身につける。情報技術や実例を理解するだけでなく、学芸員として何のために情報化をおこなうか、何を情報発信するか、目的意識をもって考察できる能力を養う。

**履修上の注意**

- なるべく多くの博物館・美術館に足を運び、積極的に情報・メディアの活用の実際についても見学、体験すること。
- パソコンを各自実際に操作する実習形式の回を設ける予定である。

**予習・復習**

- 授業内で紹介した参考文献などについて、積極的に調べること。
- 授業内で紹介したホームページや携帯アプリなどについて、自身の目で閲覧あるいは操作し、博物館・美術館における情報・メディア活用の取り組みを体験すること。

**評価方法**

期末レポート（70%）、授業内課題（30%）によって評価する。

**テキスト**

- 教科書は使用しない。参考文献を授業内で紹介する。
- 資料を毎回配布する。